

# 馬込第三小学校の改築における複合施設の機能の方向性について

## 1 基本的な考え方

馬込第三小学校の改築に当たっては、当該校の特性を活かし、学校教育の維持・向上に資する教育機能を持たせるとともに、建物の容積を最大限に活用し、地域特性や行政需要に応じた機能を複合的に置き込むことにより、新たな教育と地域力の拠点とすることを旨とする。

## 2 馬込第三小学校の概要

所在地	北馬込一丁目28番1号
敷地面積	10,951㎡
既存校舎の床面積	7,061㎡
既存校舎の構造	鉄筋コンクリート造3階建
令和元年度の児童数	713人(21学級)

## 3 馬込第三小学校の複合化における3つの視点と施設機能

- ①学校から見た視点 地域力を活かした学校教育の推進  
(地域力との連携、協働、地域のくらしを学ぶ場、世代間交流、ふれあい)
- ②地域から見た視点 馬込地区の特色に応じたまちづくり
- ③公共施設マネジメントからの視点 公共施設の集約・複合化等による効果的・効率的な施設の整備

**教育 I こどもの教育環境の向上**  
 学習機会の充実や交流機会の創出  
 室生犀星の離れ(茶室)の移築と資料の展示、郷土資料館との連携、交流イベントの実施をとおして学校と地域のつながりを強化

**地域 II 地域のくらしを支える場の充実**  
 地域活動における利便性の向上  
 地域活動室の整備

大田区立学校 諸室等仕様標準
郷土資料室
地域集会室

## 4 馬込第三小学校周辺図



(室生犀星の離れを活かし、馬込文士村の回遊性を高める)

## 5 スケジュール(予定)

スケジュール	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度以降
基本構想・基本計画	→			
基本設計・実施設計		→	→	
解体・工事				→